

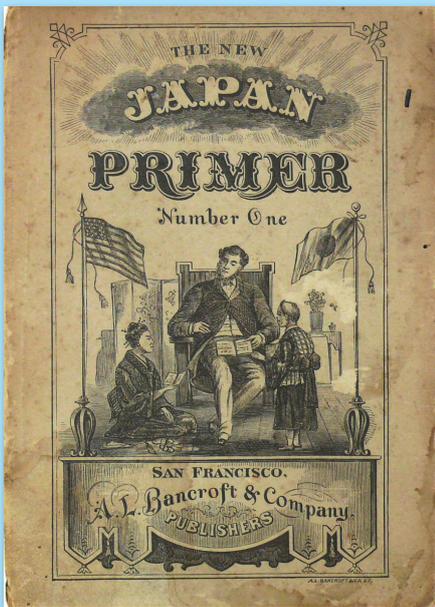
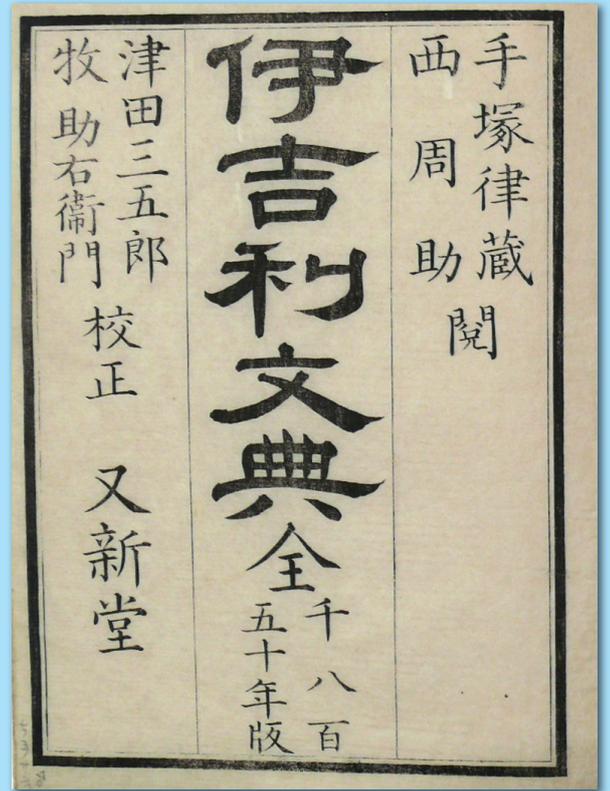
西周、英学の開拓者

監修：松田 清（日本研究所客員教授）

▼ 手塚律蔵・西周助関
『伊吉利文典』（1859）

明治時代の啓蒙思想家・哲学者として名高い西周（にし・あまね、1829～1897）は、文久2年（1862）オランダに留学。慶応元年（1865）帰国後、徳川慶喜側近、沼津兵学校初代校長を経て、新政府において軍人勅諭起草など軍政整備に務めました。

本展示では、オランダ留学以前、西周が安政3年（1856）に設置された幕府の洋学研究機関「蕃書調所」において、英学の開拓者として果たした大きな役割に注目し、神田佐野文庫所蔵の貴重資料7点の複製を通して、蘭学から英学への転換期における洋学の諸相を考察します。



▲ グリフィス編 『新日本英語読本初篇』（1872）

開催
期間

2025年9月19日(金)～
2026年7月31日(金)

開館
時間

平日 10:00～16:00

@ 3号館1階展示スペース

参加費・
事前申し込み
不要

一般来場歓迎

※ 観覧希望の場合は、本学1号館2階総務部にて入構手続きをお取りください。なお、駐車スペースはございませんので公共交通機関をご利用ください。